

鑑定人の証人尋問の開始を！ 再審開始を！



ひとり芝居 狭山事件



「石路の花」

～石川一雄・短歌に託して～

◆「すべて裁判官は、その良心に従い独立してその職権を行い、この憲法及び法律にのみ拘束される」(憲法第76条) 昨年3月11日、62年間差別とえん罪に闘い続けた石川一雄さんが86歳で逝去された。”裁判官 家令に託して 10人目 期待と不安で 胸騒ぐ”——家令裁判長に石川さんの思いを受け止めてほしい。元中学校教員の岩崎正芳が、東京高裁が立つその地で、石川さんが短歌に託した思いを渾身の力で届けるひとり芝居。ご鑑賞ください。

期 日 : 2026年2月11日(水) 開場: 14:00 開演: 14:30 終演: 15:40 (予定)

会 場 : 「日比谷図書文化館 地下一階 コンベンションホール」

千代田区日比谷公園 1-4

(交通手段) 丸ノ内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩3分

入場料 : 500円 ※ 予約申し込みは必要ありません 当日受付になります

出 演 : 岩崎正芳 (元中学校教師)

協 力 : フルート等演奏 南雲武雄(元中学校教師、狭山事件を考える入間地区住民の会事務局長)

音響・照明等 青木明兄(元中学校教師、埼玉県人権教育研究協議会副会長)

声・歌 部落解放同盟埼玉県連 北足立郡市協議会女性部

県南・石川一雄さんを支援する会、 県南地域人権・同和教育研究協議会

主催・連絡先 石路会・岩崎正芳 (080-4682-1957)

舞台照明担当 青木明兄 (070-5027-7755) Tel&Fax049-294-9668 rx5aaok@yahoo.co.jp